

新年てふ

貴重な未来

もらひけり

山口 信雄



五円玉

集めし妻の

初祈願

斎藤 正治



紅を引く

自粛籠りの

初鏡

原 八重子



笑みこぼる

良き顔揃ひ

初句会

清水 桂子



新年の

年トラないと

トライする

渡邊 節子



駅伝の

ひたひたひたと

初箱根

世木 裕子



冬夕焼

語りたき人

あのあたり

溝畠 和恵



新年の

食器洗いが

喜ばれ

小林 庸一



階を

確かめ上がる

年新た

原澤 松乃



ペン踊る

友の言葉や

老いの春

岩澤 守晃



終い湯の

詮抜く音や

去年今年

溝田 和恵



去年今年

神の戒め

続きをり

斎藤 正治



師に学ぶ

句座仄々と

去年今年

原 八重子



修善寺の

鐘衝く音や

去年今年

世木 裕子

ゴーン



良い年を

交わして寢床

去年今年

小松原和明



みしみしと

軋む憲法

去年今年

山口 信雄



認知夫

奇人変人

去年今年

渡邊 節子



恙なく

八十路の日々や

除夜の鐘

岩澤 守晃



日向ぼこ

窓際族の

猫二匹

清水 桂子



クリスマス

より良くしたい

夫婦仲

小林 庸一

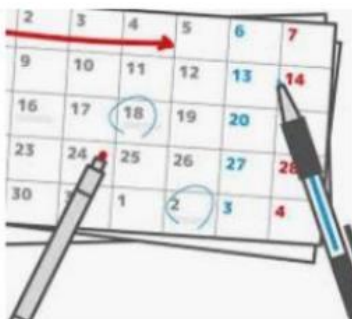


数え日や

消して書き足す

メモの数

原澤 松乃



三越の

歳暮別格

昭和かな

斎藤 正治



うれしさも

気重になりし

歳暮かな

原澤 松乃



コロナ禍の

安否問ふたる

歳暮かな

原 八重子



あれこれと

妻の指図や

年の暮

小松原和明



選り取りて

日記代りの

手帳買ふ

山口 信雄



お歳暮の

やり取りも無き

老いくらし

溝畠 和恵



夕映えの

空にきらめく

枯れ木星

岩澤 守晃



白菜の

みんな一畝

貸農園

清水 桂子



冬うらら

赤子確かな

抱き重り

世木 裕子



室の花

部屋を明るく

変えにけり

小林 庸一



時雨来て

目鼻ちぢめる

下校の子

原澤 松乃



時雨つ

夕映えている

新都心

原 八重子



夕時雨

猫の横切る

横の路地

岩澤 守晃



故郷へ

通ふ夢路や

小夜時雨

山口 信雄



闇に入る

輪島小湊

しぐれけり

斎藤 正治



朝時雨

植えたレタスの

震えをり

小林 庸一



茶の花の

咲くを告げたる

子をほめて

溝畠 和恵



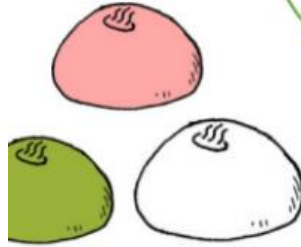
茶の花は十二月
頃咲くのだよ

不揃ひの

蒸し饅頭や

母恋し

世木 裕子



大慌て

猫駆け戻る

時雨かな

小松原和明



煩惱を

見透かされたる

冬の月

清水 桂子



切干の

お陽様まとう

匂いかな

世木 裕子



湯治場の

石路一輪の

明かりかな

原 八重子



夕闇を

静かに落とす

石路の花

岩澤 守晃



石路咲きて

暗き庭隅

灯したり

小松原和明

マンシヨンの

狭間を照らす

石路の花

清水 桂子



少年に

秘密ありけり

石路の花

溝畠 和恵



玄関に
元気はじける

七五三

斎藤 正浩



妄想を

繰り返す夫

冬の波

渡辺 節子



海鳴りの

通奏低音

石路の宿

山口 信雄



隼人瓜

辛夷に百個

生る姿

小林 庸一



朝寒の

ポ子に引かれて

富士まみゆ

原八重子



残照の

消えゆく空也

夜寒星

岩澤守晃



朝寒や

身に引き寄せらる

子猫かな

渡辺節子



朝寒や

自律神経

整はず

世木裕子



朝寒や

見沼の風車

音もなし

斎藤正治



朝寒や

なかなか開かぬ

瓶の蓋

原澤松乃



朝寒や

軍手ををはめて

花買ひに

小松原和明



猪口三杯

酔うて本音の

夜寒かな

清水桂子



薬草の
残り香のして

夜寒かな

溝畠和恵



学術を

軽んずる日

文化の日

山口信雄



身に入むや

歳で句会を

止める人

小林庸一



秋の蚊や

丑三つ時の

一騎打ち

原 八重子



秋の蚊の

羽音に「パチン」

逃がしけり

岩澤 守晃



秋の蚊や

弱弱飛んで

強く刺し

渡辺 節子



秋の蚊め

命の限り

我を刺す

青藤 正治



秋の蚊は

人を選んで

刺しにけり

小林 庸一



すり寄って

小さき声して

さす秋蚊

原澤 松乃



数独の

消し屑寄せて

長き夜

清水 桂子



秋日和

天声人語

音読す

溝畠 和恵



一人居の

吾を頼るか

秋の蚊よ

世木 裕子



満月を

掲げて著し

建長寺

山口 信雄



曼殊沙華

綾なす花は

宇宙なり

岩澤 守晃



供花も無き

過疎の墓場や

彼岸花

山口 信雄



今年また

わが庭一輪

曼殊沙華

渡辺 節子

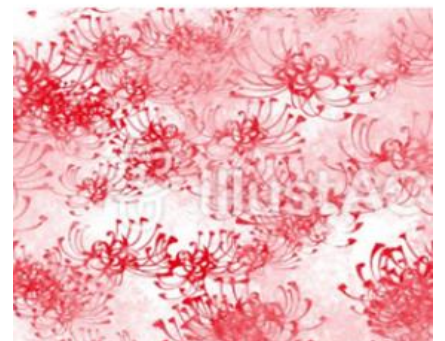


曼殊沙華

こんがらがって

咲いてをり

小林 庸一



晩学の

胸に火の点く

曼殊沙華

原澤 松乃



緋の帯の

土手に蛇行す

曼殊沙華

原 八重子



満月を
飽くほど眺む

我八十路

斎藤 正治



秋彼岸

おはぎを食べて

双子生む

山崎 實



吾に残る

赤き血潮や

万曼殊沙華

清水 桂子



しらさぎ俳句同好会

令和3年9月前半発表

秋めいて

厨の妻は

澆漉と

斎藤 正治



「生きてるか」が

合言葉なり

老いの秋

山口 信雄



街角の

秋めく風に

酔ひにけり

渡辺 節子



虫時雨

聞きて忘れし

疲れかな

原澤 松乃



見沼田の

一望眩し

稲穂かな

原 八重子



巡りくる

季節のバトン

秋の手に

岩澤 守晃

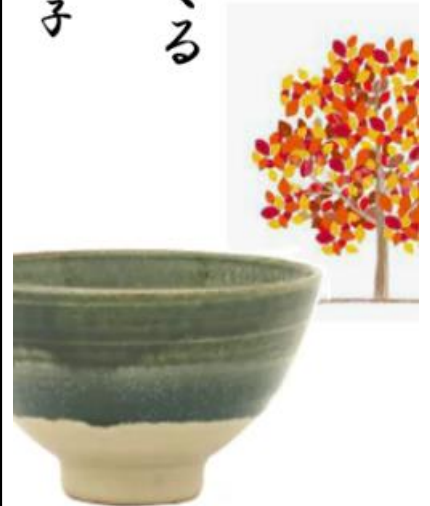


秋めくや

織部小鉢の

出番くる

清水 桂子



秋めけり

米価下がりに

農家泣く

小林 庸一



小夜更けて

雨戸をノック

秋の風

小松原和明



「転ぶなよ」

愛の眼差し

秋めきぬ

山崎 實

転ぶなよ



しらさぎ俳句同好会

令和3年7月後半発表

大向日葵

空き家に一本

仁王立ち

齋藤 正治

向日葵の

番長気取る

昼下がり

山口 信雄

占って

向日葵の人と

言はれたり

渡辺 節子



x 342 jpeg
animages.com

逞しく

咲くひまはりに

励まされ

原澤 松乃



表彰台

金と向日葵

胸に抱き

原 八重子



広大な

大地に向日葵

揃い踏み

岩澤 守晃



清蔭に

来合ふ子弟や

合歓の花

清水 桂子



草いきれ

我行く道を

変へにけり

小林 庸一



十秒の

かくも長きか

炎天下

小松原 和明



雪の下

怖怖揚げて

こわこわ喰う

渡辺 節子



迎火や

今年も無事の

灯なり

岩澤 守晃



ワクチン済む
虹に感謝や

心晴れ

原 八重子



料理屋の

乙な天ぷら

雪の下

小松原 和明



窓開けて

手を振る童

梅雨晴れ間

原澤 松乃



梅雨晴れや

卒寿の吾が身

いとほしむ

山崎 實



掻い堀で
鯰を二匹

夏の沼

小林 庸一

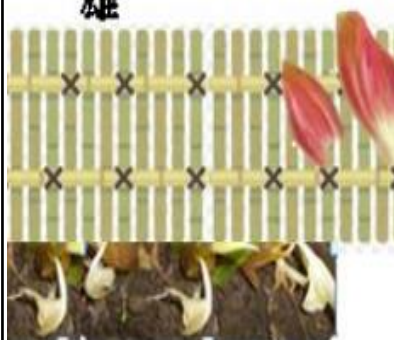


垣根越し

思はぬ恵み

茗荷の子

山口 信雄



サンガラス
掛けて女房
接種場へ

齋藤 正治



梅雨冷えや
じゅわじゅわとくる
身の軋み

身の軋み

清水 桂子

